

賞金総額
130万円!!
地球の線、
“日本のいい革”
ロゴ募集



JLIA 主催 一般社団法人日本皮革産業連合会

日本の革企業 サステナビリティ認証／日本エコレザー認定

“日本のいい革”ロゴ応募 受賞作決定!

全国レベルで盛り上がり975作品集まる

一般社団法人日本皮革産業連合会ではこの春、消費者の皆様に良質で安全な革・革製品をお届けするために、下記のロゴ2種を公募しました。

「日本の革企業 サステナビリティ認証」ロゴ

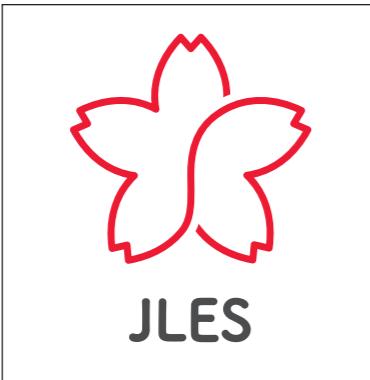
革と革製品の全てのサプライチェーン(タンナー・製品メーカー・卸・小売業など)を対象に、サステナビリティの理念に基づいたSDGs活動を積極的に展開する企業を認証する新制度に使用するロゴです。

「日本エコレザー認定」ロゴ

当連合会では、2009年より人と環境に優しい、安全・安心な革・革製品を「日本エコレザー」として認定してきました。この度、認定制度の強化を図り一般消費者へのさらなる普及・浸透を目指して既存ロゴマークを一新します。

「日本の革企業 サステナビリティ認証」ロゴ 受賞作

最優秀作



デザイン・文字に修正を加えて商標になります

はしもと ひろゆき
橋本 博之 様 (東京都)

(作意) 桜とSustainabilityの“S”をモチーフにしたマークです。JLESはJapanese Leather Enterprise Sustainability。革問屋さんや革製品をつくる作家さんなど、用途に合わせてステッカー、タグ、刻印として使うことを想定しています。

最優秀作



デザイン・文字に修正を加えて商標になります

あんの ひろき
阿武 広希 様 (大阪府)

(作意) Japan Eco Leatherの頭文字 J・E・L を一つのシンボルに表現。刻印やエンブレムのような堂々たる存在感を目指しました。クラフト感のあるフォントは安心感や信頼感があり、長期的に使用しても古びた印象を感じさせません。

優秀作



くらた こうへい
倉田 浩平 様 (大阪府)

(作意) ロゴ全体をサステナビリティの「S」で表現。レザーの上品なブラウンをベースに、上部の多くの円で革製品やサプライチェーンとし、積極的な企業活動によって「S」がつくられます。



しまじり かすなり
島尻 一成 様 (沖縄県)

(作意) 人が向き合っているフォルムは、サステナブルな取り組みをするサプライチェーンとお客様です。自然環境に配慮した高品質で安全性の高い革・革製品を提供しているイメージ。漢字の「革」という字が浮かび上がります。



しまだ たかし
島田 隆 様 (東京都)

(作意) Sustainabilityの頭文字 Sが全体の形で、中央の丸窓で日本を表現しました。中の双葉はEcoを、上下のアール(曲線)は革を表すラウンドナイフをイメージしました。

優秀作



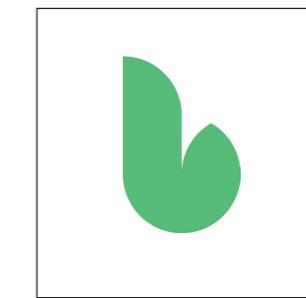
おおもり みき
大森 幹 様 (東京都)

(作意) Japan Eco Leatherの頭文字「J」は革の一片。「J」のひねった部分はエコをイメージする葉です。革とエコが表裏一体となり、高いエコ意識を革に込めています。



とうこう ゆき
東郷 佑紀 様 (東京都)

(作意) 「人の知性・環境配慮の心」と「レザーの文化」の2つが合わさることで“守られた自然”が浮かび上がるロゴです。色のグラデーションは優しさと進化する技術の先進性を表現しています。



よねや そうた
米谷 嶋太 様 (神奈川県)

(作意) LeatherのLをモチーフにしました。日の丸の形を入れ込み、エコを感じる色と形にしました。視認性の強いロゴを目指しました。

◎総評

審査委員長 池田正晴氏

応募数は当初予想よりも多かったと聞いていますが、全体にレベルが高く、また先進的な作品も多く、受賞作を選択するのが大変でした。

「サステナビリティ」最優秀作は日本を象徴する桜の花びらとサステナビリティの頭文字“S”を組み合わせたハイレベルなアイデア作。エレガントで上品な味わいが魅力です。「日本エコレザー」最優秀作もこれまたJapan Eco Leatherの頭文字をJ・E・Lの3文字をスッキリと組み合わせたせた快作。見方によって表情が変わるおもしろさがあります。皮革団体で今回のような大掛かりなロゴ募集はおそらく初めてでしょう。主催者の試みは見事に成功しました。

審査員

審査委員長 池田正晴氏

株式会社JALFIC代表取締役
1949年生まれ。桑沢デザイン研究所卒。2009年(株)JALFIC設立。東京都東京製革産地振興協議会の委託によりビッグスキンの企画開発に長年取り組んでいる。講演多数。<http://www.jalfic.jp/>

審査員 坂口昌章氏

株式会社JALFIC代表取締役
1957年東京生まれ。ファッショニストとして活躍中。著書に「コストDCブランドのファッショニズム」(日本経済新聞社)、「脱トレンド主義」(商業界)などがある。YouTube「坂口昌章」チャンネルにてファッショニングビデオに関係する動画を配信中。

審査員 及川キータ氏

東京生まれ。東京芸術大学油絵科卒業。平面作品を制作・発表するかたわら、ファッションやビューティ、音楽などのテーマを中心に、イラストレーションをファッション誌、広告、各種媒体に開拓。スライドショウ、ライブ・ペインティングなど多数。アーティストや、様々なブランドとコラボしている。事務所:RAG (Reality Arts Graphic)。<http://www.keeda.com/>

審査員 須藤千賀氏

2007年、武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科助手。2012年㈱ヘソを法人化し、グラフィックデザインを中心としたアートディレクションおよびデザイン制作。バッグブランドの運営・デザイン。武蔵野美術大学造形学部非常勤講師、大正大学表現学部特別講師、和光ブランド認定推進委員会<http://heso-cha.com>



最終選考会